



## Follow up

—会長の時間5—

会員インタビュー；第1例会時の山田名誉会員と本日の堤会員

今週は会員インタビューでしたが、第1回の会長の時間会員インタビュー掲載が、会長就任卓話掲載と重なり、掲載できませんでした。

第1回にインタビューさせて頂いた山田義夫名誉会員は、大阪労災病院院長時代に長らく当クラブにご在籍頂き、大阪で国際大会があった年に第53代会長を、又福井ガバナー輩出時には地区代表幹事として実務トップをお務め下さり、長らく我々にご薫陶頂きました。クラブでの思い出を伺うと、有難いことにわたくしが女優の石野真子さんを卓話に招いた時の事を語って下さいました。

ところで本日は、船場の“いとはん”堤会員です。

因みに“いとはん”は船場のご長女、末のお嬢ちゃんは“こいはん”、真ん中を“中んちゃん”と言います。いとはんは親にとって「いとおいしい子」あるいは「いとけない子」から来ています。「とおはん」と呼ぶ場合も「いとはん」の「い」が抜けたもので、更に“いとはん”の下に出来ますと、小さいいとはんで“小いとはん“略して”こいはん“となります。

堤会員の船場の思い出キーワードは“きっしょ”でした。

よくご母堂から「そんなきっしょの悪い事するもんでない」「それではきっしょが立たん」と躰けられたそうです。

因みに“きっしょ”の語源は、「吉書」期日を選んで天皇に申し上げる文書だそうで、転じて節目、基準、機会、けじめの意味となったようです。

堤会員はご幼少のみぎり、所作のけじめ、上下のけじめ、季節のけじめ、しきたりのけじめと隅々に至るまで気配られたご環境で育たれたようです。例えば、季節ごとに建具を入れ替え家の中のけじめをつけ、主従の食事から挨拶に至るまで上下順番と言い回しにしきたりがあり、自ら着るものにさえ快適さと言うより季節のけじめを大切に、袷（あわせ）、単衣（ひとえ）、薄物（うすもの）と決まりに従い替えるものだと言われたとの事でした。

そういう環境でお育ちになったからやはり堤会員は、いつ拝見しても背筋のピンと伸びた文字通り凛として涼やかなお姿なんだなあと言った合点がいました。

本日はこれにて。おやかましゅうございました。

2020年8月6日第五例会 会長の時間にて 東野裕暢